

**2008年度冬学期 情報認知科学 担当：鈴木宏昭**

2月6日 5限 持ち込み一切不可

1．次の中から5項目を選んで、数行程度の説明を与えなさい(各10点)。

- a) 4枚カード問題
- b) 再認
- c) change blindness
- d) ベイズの定理
- e) 手段-目標分析
- f) 利用可能性ヒューリスティクス
- g) 手続き記憶
- h) トップダウン処理
- i) 偶発学習
- j) 類推(アナロジー)
- k) 裏切り者検知

2．次の中から1項目を選んで、20行程度で論じなさい(40点)。

- a) 講義内容に沿った形で、文章の理解のプロセスを説明しなさい。
- b) 人間の記憶について、チャンク、目撃者証言などの例を用いつつ、生成性という観点から論じなさい。
- c) 人間の思考の論理性について、様々なバイアス、および領域固有性との関連で論じなさい。
- d) コミュニケーション的インターフェース論の観点から、機械音痴の生み出される原因について論じなさい。

3．この講義から何を学んだかをまとめなさい(10点)。

**2008年度夏学期 情報認知科学 担当：鈴木宏昭**

持ち込み一切不可

1．次の中から5項目を選んで、数行程度の説明を与えなさい(各10点)。

- a) 4枚カード問題
- b) 再認
- c) change blindness
- d) ベイズの定理
- e) 手段-目標分析
- f) 代表性ヒューリスティクス
- g) 意味記憶
- h) トップダウン処理
- i) 偶発学習
- j) チャンク
- k) 社会契約説(ルソーのではない)

2．次の中から1項目を選んで、20行程度で論じなさい(40点)。

- a) 講義内容に沿った形で、文章の理解のプロセスを説明しなさい。
- b) 人間の記憶について、チャンク、目撃者証言などの例を用いつつ、生成性という観点から論じなさい。
- c) 人間の思考の論理性について、様々なバイアス、および領域固有性との関連で論じなさい。
- d) コミュニケーション的インターフェース論の観点から、機械音痴の生み出される原因について論じなさい。

3．この講義から何を学んだかをまとめなさい(10点)。

2007年度夏学期 情報認知科学 担当：鈴木宏昭（金曜 5 限）

7月20日 5 限 持ち込み一切不可

1．次の中から 3 項目を選んで、数行程度の説明を与えなさい（各 10 点）。

- a)4枚カード問題
- b)再認
- c)帰納
- d)ベイズの定理
- e)手段－目標分析
- f)短期記憶
- g)意味記憶
- h)トップダウン処理
- i)処理の深さ

2．次の中から 2 項目を選んで、20 行程度で論じなさい（各 30 点）。

- a)チャンクという概念の意義について論じなさい。
- b)  $P \rightarrow Q$  という条件文についての人の推論の特性を論じなさい。
- c) 発達段階論の持つ問題点について論じなさい。
- d) 機械音痴の生み出される原因について論じなさい。
- e) 人間の記憶を生成性という観点から論じなさい。

3．この講義から何を学んだかをまとめなさい（10 点）。

## 2006年度夏学期試験問題

### 情報認知学（水曜4限、鈴木宏昭担当）

以下の設問に答えなさい。なお分量はおおよそのものであり、厳密なものではない。  
回答に際しては、何を選択したかが分かるようにローマ数字とアルファベットを  
回答の最初に必ず書くこと。

．以下の中から3題を選び、数行（3 - 5行程度）の簡単な説明を行いなさい。

（各10点）

- A) 短期記憶
- B) ソースモニタリング
- C) 社会契約説
- D) 確証バイアス
- E) epistemic action
- F) 数の保存課題

．以下の中から2題を選択し、20行程度で論じなさい。（各30点）

- A) チャンクという概念が必要となる証拠を挙げつつ、これを計算機科学における情報量と比較して述べなさい。
- B) 想起を長期記憶から短期記憶へとコピーする考え方について検討しなさい。
- C) 人間が規範的、合理的なルール（命題論理、ベイズ等）に従わない場合があることを例示し、その理由を考察しなさい。
- D) 少年犯罪増加、人種的偏見など誤った信念が生み出される理由を論じなさい。
- E) 重複波モデルについて説明し、その意義を述べなさい。
- F) 外化が認知を促進する理由を場合分けして述べなさい。

．本講義を受講し、人間の認識についてどのような知見を得たか、あるいは何が疑問として残ったかを書きなさい（分量は自由）（10点）

## 2005年度夏学期試験問題

### 認知神経科学（火曜3限、鈴木宏昭担当）

以下の設問に答えなさい。なお分量はおおよそのものであり、厳密なものではない。回答に際しては、何を選択したかが分かるようにローマ数字とアルファベットを回答の最初に必ず書くこと。

I. 以下の中から3題を選び数行（2 - 5行程度）程度の簡単な説明を行いなさい。

（各10点）

- A) Change Blindness
- B) 符号化特殊性(encoding specificity)
- C) 演繹と帰納の違い
- D) 利用可能性ヒューリスティクス
- E) アフォーダンス
- F) 洞察問題

II. 以下の中から2題を選択し、20行程度で論じなさい。（各30点）

- A) 人間の情報処理過程の基本的な図式について説明しなさい。
- B) チャンクという概念が必要となる証拠を挙げつつ、これを計算機科学における情報量と比較して述べなさい
- C) 人間の記憶（想起）の生成的性質について証拠を挙げて論じなさい。
- D) Wason の選択課題（4枚カード問題）におけるさまざまな実験的証拠が示すことについて論じなさい。
- E) ハノイの塔のさまざまなバージョンを用いた実験を通して、Zhang & Norman が提案した分散認知の考え方を解説し、その意義を述べなさい。
- F) 洞察における制約緩和を促す要因について述べなさい。

III. 本講義を受講し、人間の認識についてどのような知見を得たか、あるいは何が疑問として残ったかを書きなさい（分量は自由）。（10点）

## 2005年度夏学期試験問題

### 認知神経科学（火曜3限、鈴木宏昭担当）

以下の設問に答えなさい。なお分量はおおよそのものであり、厳密なものではない。回答に際しては、何を選択したかが分かるようにローマ数字とアルファベットを回答の最初に必ず書くこと。

I. 以下の中から3題を選び数行（2 - 5行程度）程度の簡単な説明を行いなさい。

（各10点）

- A) 手続き記憶の特質を他の記憶と比較して述べなさい。
- B) 概念のプロトタイプについて説明しなさい。
- C) 精緻化リハーサルについて説明しなさい。
- D) 実用的推論スキーマについて説明しなさい。
- E) 類推のプロセスを説明しなさい。
- F) 洞察問題の特質を述べなさい。

II. 以下の中から2題を選択し、20行程度で論じなさい。（各30点）

- A) チャンクという概念が必要となる証拠を挙げつつ、これを計算機科学における情報量と比較しなさい。
- B) 記憶のゆがみを生み出す要因をまとめなさい。
- C) 人間が規範的、合理的なルール（命題論理、ベイズ等）に従わない場合があること例示し、その理由を考察しなさい。
- D) ボトムアップ処理とトップダウン処理について、各々の特質を説明し、人間がこれら2つをあわせ持つことの利点を述べなさい。
- E) 類推においてなぜ構造や抽象化が必要とされるかについて述べなさい。
- F) 洞察における制約緩和を促す要因について述べなさい。

III. 本講義を受講し、人間の認識についてどのような知見を得たか、あるいは何が疑問として残ったかを書きなさい（分量は自由）。（10点）